

# 電機連合の統一闘争

# 1. 電機連合の「産別統一闘争」の特徴とねらい

## 特 徴

- (1) **スト権事前確立**による  
「事前対処方式」
- (2) 中闘組合の**スト指令権**の「中  
央闘争委員会」への**事前委譲**
- (3) **統一日程、統一要求、  
統一回答、統一行動**

## 狙 い

**労働条件の向上**

**波及効果**

## 2. 電機連合の組織体制

### 1. 闘争体制

#### ➤ 中央闘争委員会組合（13組合）

- スト権の事前確立（事前対処方式）
- スト指令権の電機連合（中央闘争委員会）への委譲
- 「ハドメ」を確保できない場合は「闘争行動」に入る

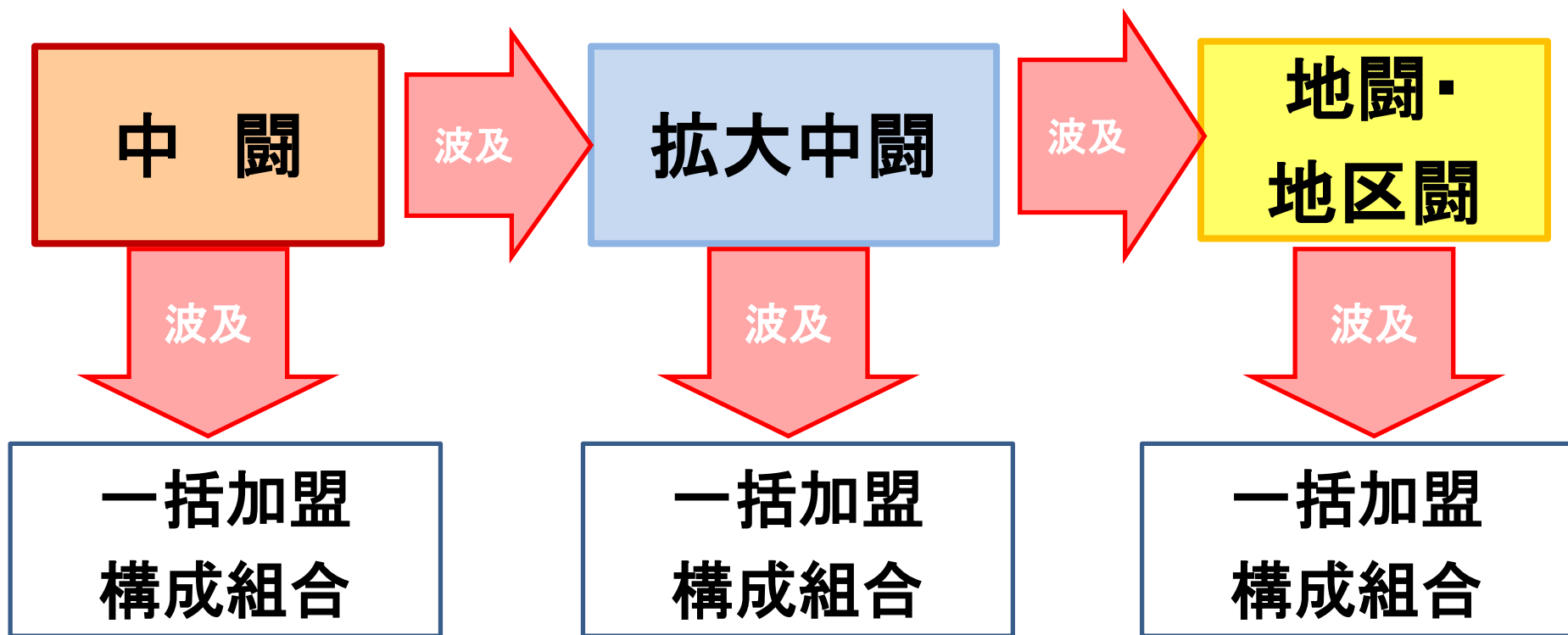
#### ➤ 拡大中央闘争委員組合（22組合）

#### ➤ 地闘組合（136組合）

### 2. 業種別部会（8業種）

#### ➤ 総合、重電、家電、音響、通信、情報、部品、半導体・ディスプレイ

### 3. 統一闘争における波及効果を引き出す取り組み



各闘争組織の**連携強化**に取り組む

# 4. 電機連合における言葉の定義

## ■ 統一要求基準

- 加盟組合全体が統一して取り組む項目
- 回答不満の場合は基本的に闘争行動（ストライキなど）の対象となる要求項目

## ■ 統一目標基準

- 「統一要求基準」に準じた統一交渉項目
- 闘争行動とは連動しないが、重要な要求項目

## ■ 到達指標

基準に未到達組合が到達をめざして取り組む項目

## ■ 統一推進項目

これまで独自要求として取り組んできた内容を含む項目

# 5. 産別統一闘争強化「再整理」の全体像

## 二つの領域を設けて強化する電機連合統一闘争

### 何としても守るべき領域

#### 【賃金】

- ・「賃金体系維持」
- ・「ベースアップ」  
(生活維持の観点で「一定のベースアップが必要」となった場合)

【一時金】 ・ 「一時金の産別ミニマム基準」

【最低賃金】 ・ 「産別最低賃金」

#### 【労働協約】

「不退職の決意で取りきらなければならない項目」

各組合が業績や処遇実態を踏まえ、主体的に処遇改善に取り組む領域

それぞれの組合が「達成プログラム」をたて、それに向かって交渉を進めていく

【賃金】 (例) 目標水準達成: 350,000円  
【退職金】 (例) 統一目標基準の水準到達  
【福利厚生など、全ての処遇制度】

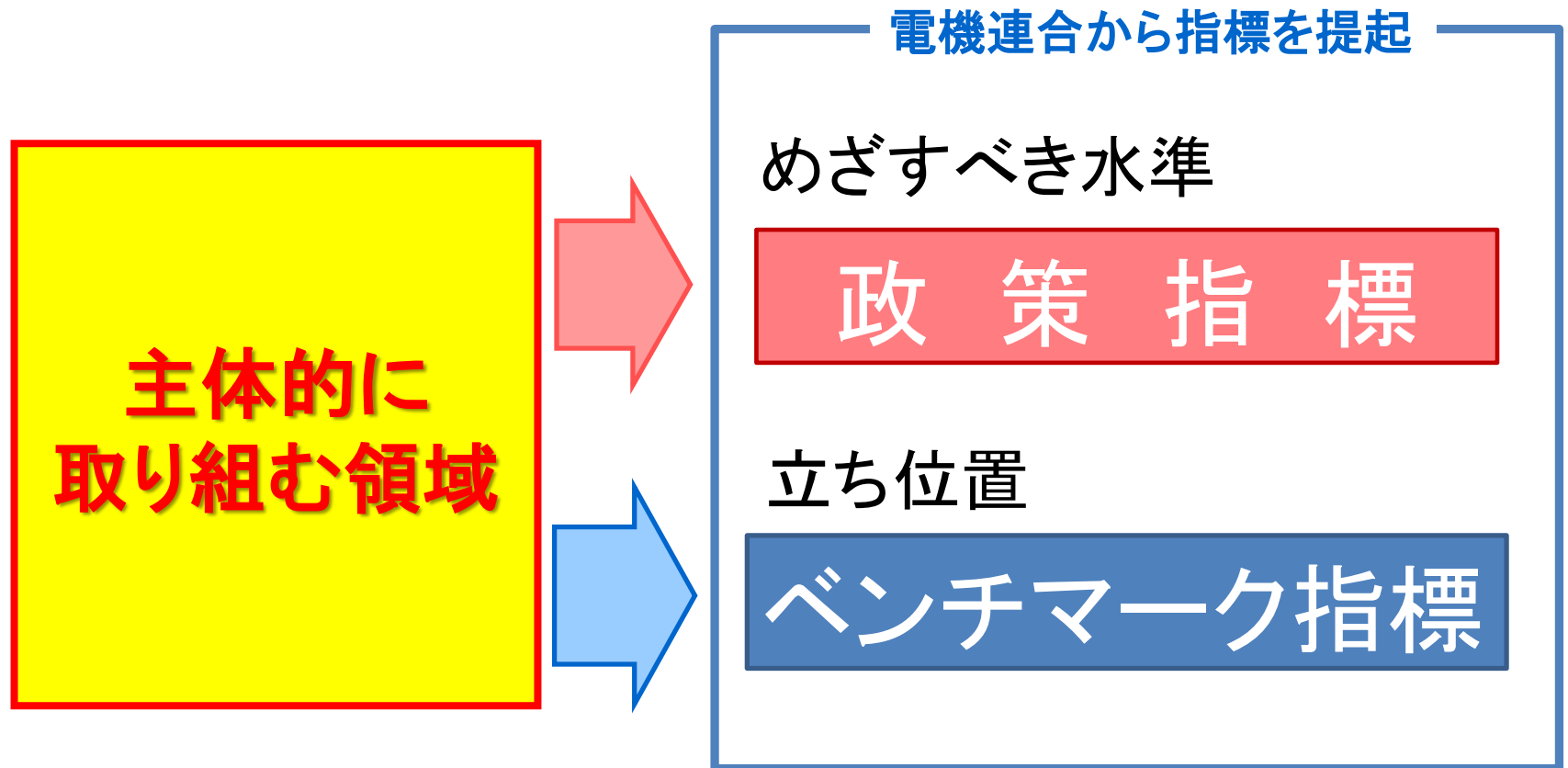
それぞれの組合が「達成プログラム」を立てて取り組む労働協約項目

【闘争による取り組み】

【闘争による取り組み】

【通年の取り組み】

# 6. 政策指標とベンチマーク指標について



# 7. 産別労使交渉の役割

電機産業  
労使交渉



マクロ論議

生活不安・雇用不安・将来不安の払拭  
電機産業の持続的な発展  
人への投資  
電機産業労使の社会的責任と役割

メンバー

経営側 大手6社労務担当役員  
電機連合側 三役・書記次長

美しい地球・幸せな暮らし

個別企業  
労使交渉



労働条件

賃金、労働協約、福利厚生などの  
労働条件



## 8. 統一闘争の意義

60年間積み上げてきた**労使の信頼関係**

賃金相場形成の**社会的役割**

産別横断的な**波及効果**



**統一闘争の社会的役割の発揮**